

教育の充実で人口減少に歯止めを

## 教員の現場力向上施策は？



石田 哲 議員

答

研修を実施し、若手教員を育成する

人口減少が著しい自治体は、人情があつて、自然があつて、空気が美味しい。これが地方自治体の実態である。これだけでは若者定住の魅力要素ではない。きつと何か資源が埋もれている。その一つが教育の充実であるとの観点から、次の質問をする。

問

小中一貫教育の課題分析で教職員の意識改革が必要と分析しているが具体策は。

答

教育部長  
小中学校9年間で子どもを育てるという意識になってきました。

その根拠は、先進地視察等を通して制度への理解が深まったことや、小中一貫教育コーディネーターの配置で一貫した具体的な実践ができるようになったことで、教職員が意識改革を図った結果と考えます。

問

学力向上策で独自の診断テストを実施した。課題と対策が見つかったのか。

答

教育部長  
テストの結果、「書く力」や「言語の知識・理解」に課題が見られました。

問

厳しい財政事情でも教育に予算をつけるべきだと進言してきた。教育現場ではどの様に受け止めているのか。

答

教育部長  
小学校の一部教科担任制等を取り入れ、学力の向上と職員の資質向上に取り組めます。

問

中央教育審議会は、教育長と教育委員長の一体化でスピード感のある体制に変える方針だ。首長の介入や権限の一元化は、教育改革にどの様な効果をもたらすのか。

答

教育部長  
教育の政治的中立性を確保しつつ、首長との一層の連携強化を目的とした改革です。

総合教育会議の利点を生かし市長部局と連携を図りながら、教育行政を推進していきます。

問

学力向上施策として最も大切な要因は、教師の資質向上策だ。日常の教育現場で活力ある授業をするため教職員の現場力向上施策は何か。提案として「eラーニング」システムを導入してはどうか。

答

教育部長  
ベテラン教員が退職し若手教員が増えてきています。指導技術の継承と若手教員の育成は、喫緊の課題です。市の教育研究所を拠点に、今年度からは初任者研修以外に、2年次から5年次までの教職員研修を実施しています。

提案のeラーニングシステムについては、県も活用している有用な手法であり、今後検討していきます。

### 用語解説

【用語解説】

● eラーニング：

インターネット等の情報技術を使用して学習すること。